

製品名: リン酸化タウ (S404) (13R18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06034**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,IF-P |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,IF-P 1:20-1:50 |
| 分子量 | 79kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAPT |
| 別名 | MAPT; Microtubule-associated protein tau; MTBT1; Neurofibrillary tangle protein; Paired helical filament-tau; PHF-tau |
| 遺伝子 ID | 4137.0 |
| SwissProt ID | P10636 |
| 免疫原 | ヒトタウの Ser404 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド |

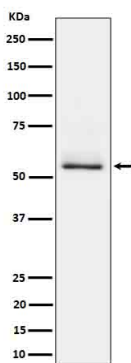
背景

微小管の組み立てと安定性を促進し、ニューロン極性の確立と維持に関与している可能性があります。C末端は軸索微小管に結合し、N末端は神経細胞膜成分に結合することから、タウは両者間のリンカータンパク質として機能することが示唆されています。微小管の組み立てと安定性を促進し、ニューロン極性の確立と維持に関与している可能性があります (PubMed:21985311)。C末端は軸索微小管に結合し、N末端は神経細胞膜成分に結合することから、タウは両者間のリンカータンパク質として機能することが示唆されています (PubMed:21985311, PubMed:32961270)。軸索の極性は、神経細胞内において、中心体によって定義される細胞体領域におけるTAU/MAPTの局在によって決定されます。短いアイソフォームは細胞骨格の可塑性を可能にする一方、長いアイソフォームは細胞骨格の安定化に優先的に役割を果たす可能性がある。

研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アルツハイマー病

画像データ



マウス脳細胞溶解物におけるリン酸化タウ (S404) 発現のウェスタンブロット分析。